

皆さま方には、平素より私ども佐賀共栄銀行をお引立ていただき、誠にありがとうございます。

さて、ここに18年9月期ディスクロージャー誌をお届けいたします。本誌は、18年9月期の中間決算の状況を中心に、当行の経営方針のほか、最近のトピックス等をご紹介します。ご高覧のうえ、当行の経営内容等について、より一層のご理解を賜れば幸いに存じます。

17年度よりスタートした第七次中期経営計画「創造的改革」(4ヵ年)も、1年半が経過し折返し地点を迎えようとしています。この18年下期は1st.Stage「改革断行」の総仕上げとなります。続く2年間の「改革完成期」を確実に遂行するためにも、収益管理・営業推進の改革や組織及び内部管理の改革の完成を目指し、現状に満足することなく健全性の更なる向上を図ってまいります。

また、お取引先企業の経営改善・事業再生の支援や利用者の皆さまの利便性向上など「地域密着型金融」の推進を通じて、地域経済活性化と積極的な地域貢献を推進していくことで、目指す銀行像(長期ビジョン)「地域に信頼感と存在感のある銀行」の実現に向けて、役職員一同、より一層の努力を重ねてまいります。所存でございます。

今後とも、皆さま方の旧に倍するご支援・ご愛顧を切にお願い申し上げます。

平成19年1月
取締役会長 宮原 利弘
取締役頭取 山本 孝之

きょうぎんの経営戦略

経営理念

❖ 地元と共に栄え、地元信頼される「地域共栄型銀行」の確立 ❖

具現化に向けて

目指す銀行像(長期ビジョン)

❖ 地域に信頼感のある銀行 ❖

- 健全な財務内容
- 安定した収益力
- 高い企業倫理

❖ 地域に存在感のある銀行 ❖

- 積極的な地域貢献
- 充実した金融サービス

実行計画

第七次中期経営計画

平成17年度より第七次中期経営計画(4ヵ年)をスタートしました。この計画期間は上記「経営理念」及び「目指す銀行像」の実現に向けた「創造的改革」の4年間と位置付けています。

第七次中期経営計画の概要

2005.4~2009.3(平成17.4~21.3)

経営理念

地元と共に栄え、地元信頼される「地域共栄型銀行」の確立

目指す銀行像

1. 地域に信頼感のある銀行
 - 健全な財務内容
 - 安定した収益力
 - 高い企業倫理
2. 地域に存在感のある銀行
 - 積極的な地域貢献
 - 充実した金融サービス

創造的改革

1st.Stage
2005.4~2007.3

1. 収益管理・営業推進の改革
2. 組織及び内部管理の改革

平成18年度目標

コア業務純益	16億円
コア粗利OHR (業務粗利益経費率)	71.9%
コア業純ROA (総資産業務純益率)	0.62%
コア業純ROE (株主資本利益率)	14.5%
自己資本比率	8.6%
Tier1比率	7.4%
繰延税金資産割合	20.0%
不良債権比率	4.6%

基本方針(戦略)

収益力の強化

- 収益主義の徹底
- 経営効率の向上
- 資産内容の健全化

営業力の強化

- 商品・サービス提供力の強化
- 効率的営業体制の構築
- 人材の育成と有効活用

組織力の強化

- 本支店サポート体制の強化
- 実力主義・成果主義の徹底
- 意思決定・実行の迅速化

内部管理態勢の強化

- 法令遵守態勢の強化
- リスク管理の強化
- ガバナンス・内部監査の強化